

産業教育施設・設備基準の改訂について

文部科学省初等中等教育局参事官付助成係

1. 産業教育振興費国庫補助制度の概要

産業教育振興費国庫補助制度は、昭和26年に制定された「産業教育振興法」に基づき昭和27年から開始され現在に至っている。

この制度は、高等学校の設置者が、産業教育のための実験実習施設・設備を整備する場合、国がその整備に要する経費の一部を補助する制度である。

国庫補助の対象となる施設・設備の基準（以下、「施設・設備基準」とする）については、「産業教育振興法」第15条を受けて「産業教育振興法施行令」、「産業教育振興法施行規則」に具体的な基準が定められており、この基準に達していないものについて、これを当該基準まで高めようとする場合において予算の範囲内で補助することができるとしている。

2. 基準改訂の経緯

施設・設備基準は、昭和27年の制定以降、高等学校学習指導要領の改訂や産業社会の進展等に伴う教育内容の変更等に対応するため、昭和39年、昭和51年、平成6年の計3度、基準の改訂を行ってきたところである。

今回、平成15年度から実施される新高等学校学習指導要領において、専門教科「情報」、「福祉」が新たに措置されたこと等に対応するため、有識者による「産業教育施設・設備基準改訂のための検討会」を開催し、当該検

討会より提出された「産業教育施設・設備基準案」に基づき施設・設備基準の改訂を行うこととした。

3. 基準改訂の基本方針

今回の施設・設備基準の改訂においては、

- ①高等学校学習指導要領の改訂の趣旨を教育現場に十分生かすために必要な基準とすること。特に専門教育に関する教科「情報」、「福祉」が新たに措置されたことを踏まえ、その促進が図られる基準とすること。
- ②近年における技術革新、情報化や国際化等、社会の変化に対応可能な基準とすること。
- ③各学校の特色あるカリキュラム編成に対応すること。

という3つの基本の方針を定め、基準の改訂を行うこととした。

4. 基準改訂の内容

- ①産業教育振興法施行規則別表第一で表記していた「例示実習室名」、「数量」、「例示品名」を表記からはずし、別途、通知で行うこととし、例示に縛られること無く、必要な施設・設備の整備を行いやすいようにした。
- ②新学習指導要領において、専門教科「情報」、「福祉」が措置されたことを踏まえ、従前の職業教科（農業、工業、商業、水産、家庭、看護）に加え、情報、福祉を新たに施設・設備基準の対象に加えることとした。

- ③新学習指導要領において、総合学科における各教科・科目の必修単位数が従前の30単位以上から25単位以上に改められたことから、本基準の対象とする総合学科を、「職業科目を30単位以上開設している総合学科」から、「職業科目を25単位以上開設している総合学科」に見直した。
- ④学習指導要領の改訂に伴い、各学校において開設している科目の通常履修が想定される基本的な単位数を各科目群ごとに定めた

「標準単位」を見直した。また新学習指導要領において、専門教科「情報」、「福祉」が措置されたことや、各教科における科目の見直し等を踏まえ、各「科目群」ごとの「基準金額」及び「基準面積」を見直した。(資料1)

- ⑤学習指導要領の改訂に伴い、各教科における科目の見直しを踏まえ、各「科目群」ごとに適用する科目の見直しを図った。(資料2)

項	科目群	標準単位数	設備基準金額(千円)	基準面積(m ²)
1	情報基礎に関する科目群	2~6	47,477	490
2	情報応用に関する科目群	10~17	335,551	1,750
3	生物生産に関する科目群	14~34	230,576	8,470
4	林業に関する科目群	10~16	92,166	1,720
5	食品科学に関する科目群	12~22	164,473	2,260
6	工業基礎に関する科目群	8~15	75,882	1,220
7	電子基礎に関する科目群	4~6	58,598	440
8	機械に関する科目群	10~17	390,240	3,220
9	自動車に関する科目群	9~13	207,132	3,380
10	船舶に関する科目群	6~12	184,158	2,840
11	電気に関する科目群	14~22	207,887	1,760
12	電子応用に関する科目群	12~22	307,288	1,910
13	建築に関する科目群	14~22	78,294	1,860
14	設備工業に関する科目群	12~18	209,616	2,110
15	土木・造園に関する科目群	14~30	209,986	1,760
16	化学工業に関する科目群	14~20	251,771	2,130
17	材料技術に関する科目群	11~17	220,796	2,690
18	セラミックに関する科目群	13~19	168,653	2,390
19	繊維に関する科目群	10~14	166,453	2,200
20	インテリアに関する科目群	8~12	184,745	2,600
21	デザインに関する科目群	11~18	118,462	2,310
22	流通・経営に関する科目群	10~20	117,937	1,460
23	国際経済に関する科目群	6~12	42,534	520
24	水産・海洋基礎に関する科目群	8~14	202,814	1,150
25	海洋漁業に関する科目群	15~25	92,323	880
26	栽培漁業に関する科目群	13~28	80,237	1,150
27	被服に関する科目群	12~24	37,144	440
28	食物・調理に関する科目群	12~36	39,859	720
29	保育・福祉に関する科目群	13~26	44,121	1,170
30	看護に関する科目群	16~32	37,677	1,190

(資料1) 標準単位数・設備基準金額・施設基準面積一覧

科目群	新 科 目
情報基礎に関する科目群	(情)情報産業と社会[新規]、(福)福祉情報処理[新規]、(農)農業情報処理、(工)情報技術基礎、(商)情報処理、(家)家庭情報処理、(看)看護情報処理、情報基礎に関するその他の科目
情報応用に関する科目群	(工)マルチメディア応用、(商)ビジネス情報、(文)文書デザイン、(水)水産情報技術、(情)情報と表現[新規]、(情)アルゴリズム[新規]、(情)情報システムの開発[新規]、(情)ネットワークシステム[新規]、(情)モデル化とシミュレーション[新規]、(情)コンピュータデザイン[新規]、(情)図形と画像の処理[新規]、(情)マルチメディア表現[新規]、(工)プログラミング技術、(工)ハードウェア技術、(工)ソフトウェア技術、(商)プログラミング、情報応用に関するその他の科目
生物生産に関する科目群	(農)農業科学基礎、(農)畜産、(農)植物バイオテクノロジー、動物・微生物バイオテクノロジー、(農)生物活用、(農)環境科学基礎[新規]、(農)グリーンライフ[新規]、(農)作物、(農)野菜、(農)果樹、(農)草花、(農)農業機械、生物生産に関するその他の科目
林業に関する科目群	(農)森林科学、(農)林産加工、林業に関するその他の科目
食品科学に関する科目群	(農)食品製造、(農)微生物基礎、(水)水産食品管理、(農)食品化学、(水)水産食品製造、食品科学に関するその他の科目
工業基礎に関する科目群	(工)工業技術基礎、(工)工業数理基礎、(工)工業技術英語、(工)製図、(工)工業管理技術、(工)材料技術基礎、工業基礎に関するその他の科目
電子基礎に関する科目群	(工)生産システム技術、電子基礎に関するその他の科目
機械に関する科目群	(工)機械工作、(工)機械設計、(工)原動機、(工)電子機械、(工)電子機械応用、(水)機械設計工作、機械に関するその他の科目
自動車に関する科目群	(工)自動車工学、(工)自動車整備、自動車に関するその他の科目
船舶に関する科目群	(水)船用機関、船舶に関するその他の科目
電気に関する科目群	(工)電力技術、(工)電気基礎、(工)電気機器、(工)電子技術、(水)電気工学、電気に関するその他の科目
電子応用に関する科目群	(水)通信工学、(工)電子回路、(工)電子計測制御、(工)電子情報技術、(工)通信技術、(水)電気通信理論、電子応用に関するその他の科目
建築に関する科目群	(工)建築構造、(工)建築施工、(工)建築構造設計、(工)建築計画、(工)建築法規、建築に関するその他の科目
設備工業に関する科目群	(工)設備計画、(工)空調調設備、(工)衛生・防災設備、設備工業に関するその他の科目
土木・造園に関する科目群	(農)農業土木施工、(農)造園技術、(工)土木構造設計、(工)社会基盤工学、(工)土木基礎力学、(農)農業土木設計、(農)造園計画、(農)測量、(工)土木施工、(工)測量、土木・造園に関するその他の科目
化学工業に関する科目群	(工)工業化学、(工)化学工学、(工)地球環境化学、化学工業に関するその他の科目
材料技術に関する科目群	(工)材料製造技術、(工)工業材料、(工)材料加工、材料技術に関するその他の科目
セラミックに関する科目群	(工)セラミック化学、(工)セラミック技術、(工)セラミック工業、セラミックに関するその他の科目
繊維に関する科目群	(工)繊維・染色技術、(工)繊維製品、(工)染織デザイン、繊維に関するその他の科目
インテリアに関する科目群	(工)インテリアエレメント生産、(家)リビングデザイン、(工)インテリア計画、(工)インテリア装備、インテリアに関するその他の科目
デザインに関する科目群	(商)商業技術、(家)ファッションデザイン、(工)デザイン史、(工)デザイン技術、(工)デザイン材料、デザインに関するその他の科目
流通・経営に関する科目群	(農)農業経済、(農)森林経営、(商)原価計算、(商)会計実務、(商)商品と流通、(商)ビジネス基礎[新規]、(水)水産流通、(家)生活産業基礎[新規]、(家)消費生活、(農)農業経営、(農)食品流通、(商)簿記、(商)会計、(商)マーケティング、(商)総合実践、流通・経営に関するその他の科目
国際経済に関する科目群	(商)国際ビジネス、(商)経済活動と法、(商)英語実務、国際経済に関するその他の科目
水産・海洋基礎に関する科目群	(水)水産基礎、(水)ダイビング[新規]、(水)操船、水産・海洋基礎に関するその他の科目
海洋漁業に関する科目群	(水)漁業、(水)航海・計器、(水)漁船運用、海洋漁業に関するその他の科目
栽培漁業に関する科目群	(水)海洋環境、(水)栽培漁業、(水)水産生物、栽培漁業に関するその他の科目
被服に関する科目群	(家)服飾文化、(家)服飾手芸、(家)被服製作、被服に関するその他の科目
食物・調理に関する科目群	(家)フードデザイン、(家)食文化[新規]、(家)調理、(家)栄養、(家)公衆衛生、(家)食品、(家)食品衛生、食物・調理に関するその他の科目
保育・福祉に関する科目群	(家)発達と保育、(家)児童文化、(福)社会福祉基礎[新規]、(福)社会福祉制度[新規]、(福)社会福祉援助技術[新規]、(福)基礎介護[新規]、(福)社会福祉実習[新規]、(福)社会福祉演習[新規]、(家)家庭看護・福祉、保育・福祉に関するその他の科目
看護に関する科目群	(看)成人・老人看護、(看)看護基礎医学、(看)基礎看護、(看)母子看護、(看)看護臨床実習、看護に関するその他の科目

(資料2) 適用科目一覧